

## 秋田駒ヶ岳の火山活動解説資料（平成 23 年 9 月）

仙台管区气象台  
火山監視・情報センター

めだけ  
女岳では、高さ200mの噴気を観測し、北東斜面及び北斜面で新たな地熱域が確認されました。火山性地震は少ない状況で、ただちに噴火する兆候は認められませんが、今後の火山活動の推移に注意する必要があります。

平成21年10月27日に噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

## ○ 活動概況

## ・噴気など表面現象の状況（図2～5）

熊ノ台（女岳山頂の南西約5km）及び仙岩峠（女岳山頂の南約5km）に設置してある監視カメラ（東北地方整備局）では、27日に一時的に女岳から高さ200mの噴気を観測しました。また、29日にも高さ20mの噴気を観測しています。

28日に実施した現地調査では、地表面温度分布<sup>1)</sup>で女岳北東斜面及び北斜面に新たな地熱域が確認されました。女岳山頂北部の噴気地熱地帯では、地表面温度分布<sup>1)</sup>などに特段の変化はなく、新たな地熱域は認められませんでした。

1) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を検知して温度分布を測定する測器です。熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

## ・地震や微動の発生状況（図6～7）

火山性地震は少ない状況が続いています。火山性微動は観測されませんでした。



図1 秋田駒ヶ岳 観測点配置図

（小さな白丸は気象庁観測点位置を示しています。

小さな黒丸は他機関の観測点位置を示しています。）

（東）：東北大学 （東地）：東北地方整備局

この火山活動解説資料は、仙台管区气象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成23年10月分）は平成23年11月9日に発表する予定です。

※この記号の資料は、気象庁のデータの他、国土交通省東北地方整備局、東北大学のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平20業使、第385号）。また、同院発行の『数値地図25000（地図画像）』を複製しています（承認番号 平20業複、第647号）。

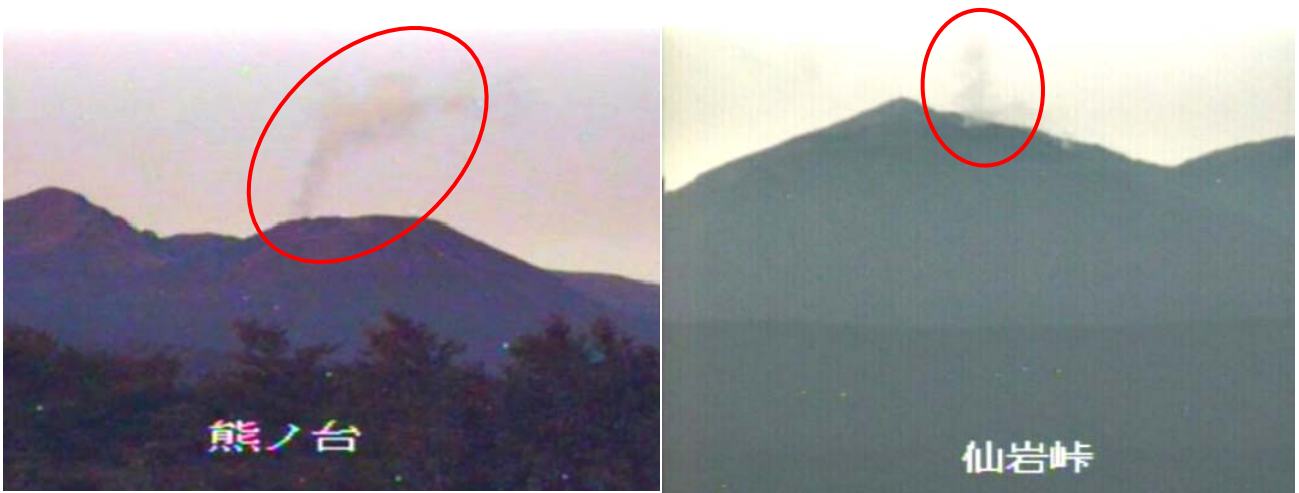


図 2\* 秋田駒ヶ岳 女岳からの噴気の状態（2011 年 9 月 27 日 18 時 05 分頃）

左図：熊ノ台からの映像 右図：仙岩峠からの映像

熊ノ台（女岳山頂の南西約 5 km）及び仙岩峠（女岳山頂の南約 5 km）に設置してある監視カメラ（東北地方整備局）による。

実線赤丸で囲んだのが、女岳からの白色噴気で高さは最大 200m。

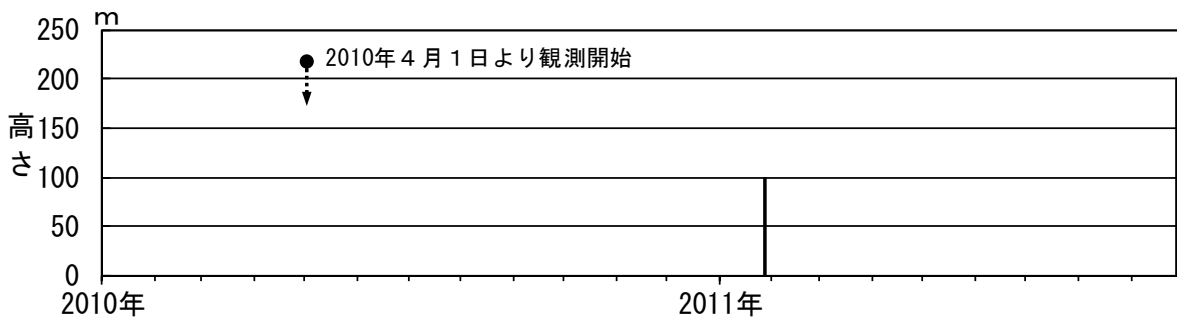


図 3\* 秋田駒ヶ岳 日最大噴気の高さ（2010 年 4 月～2011 年 9 月）

熊ノ台（女岳山頂の南西約 5 km）及び仙岩峠（女岳山頂の南約 5 km）に設置してある監視カメラ（東北地方整備局）による。

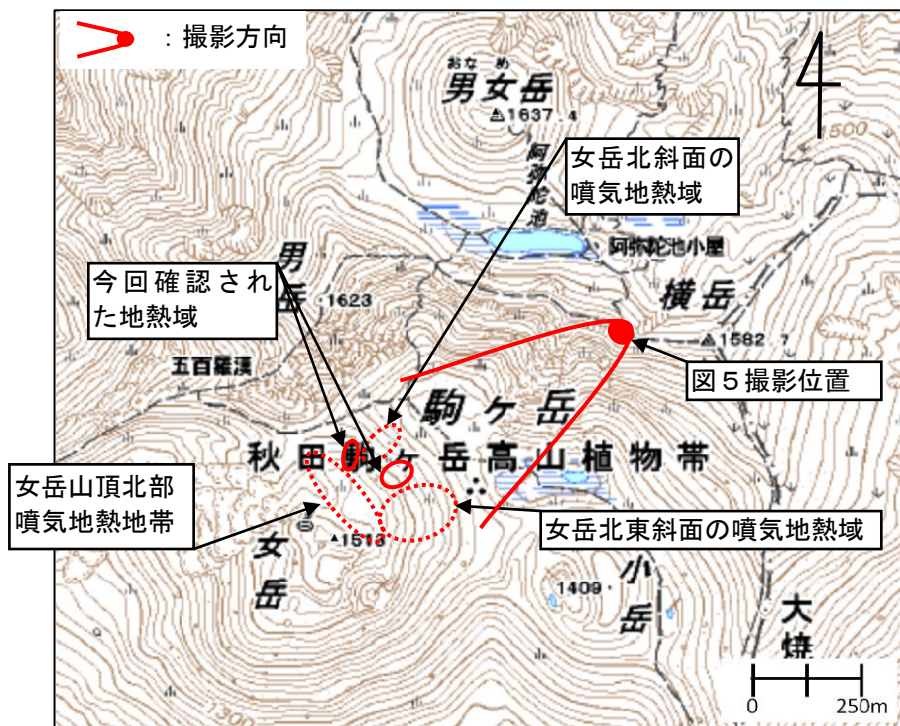


図 4 秋田駒ヶ岳 地形図と図 5 の撮影位置

この地図の作成には国土地理院発行の「数値地図 25000（地図画像）」を複製しました。



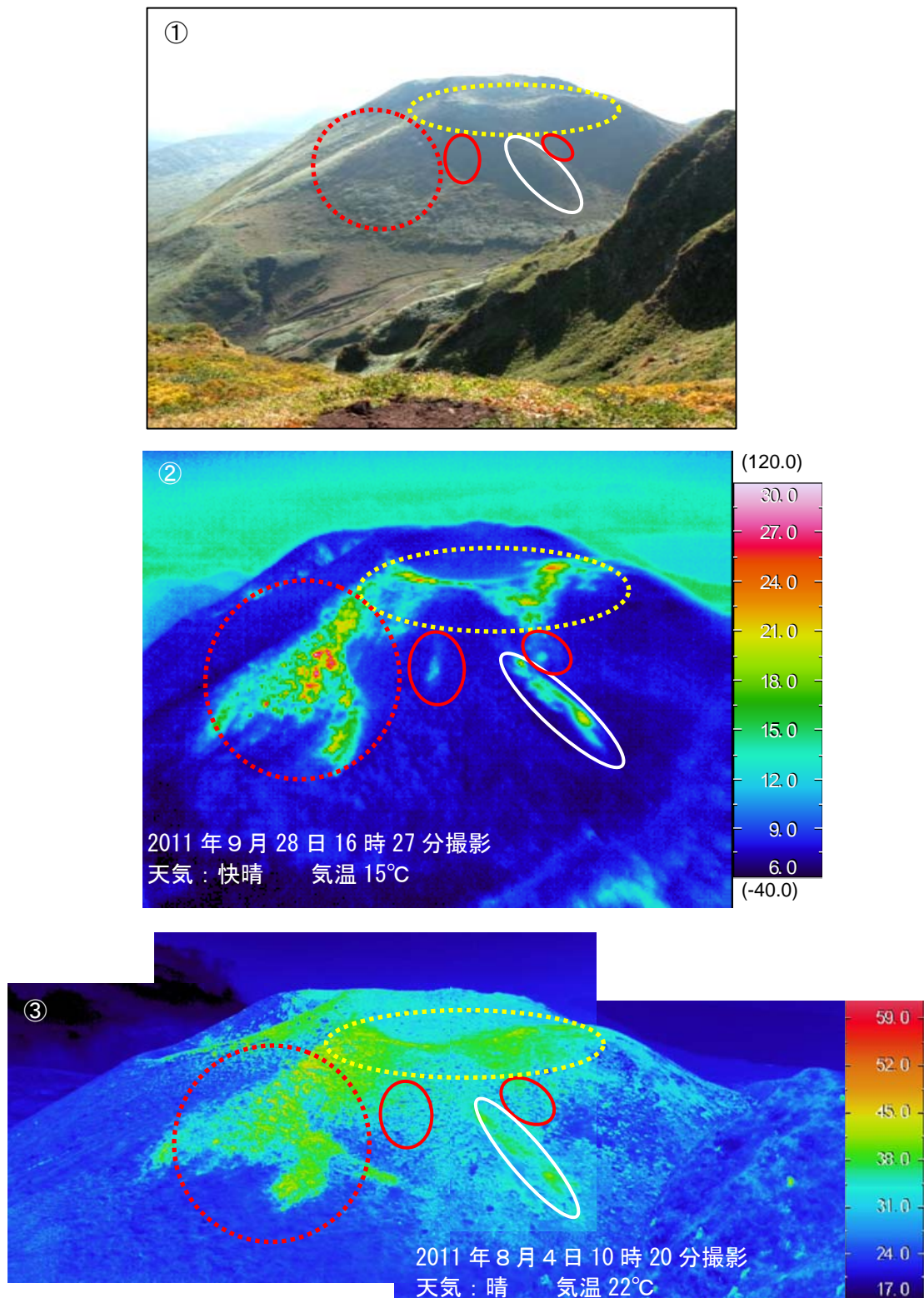


図5 秋田駒ヶ岳 女岳の可視画像と地表面温度分布<sup>1)</sup>

①、②：2011年9月28日撮影 ③：2011年8月4日撮影

- ・図の実線赤丸が、今回（2011年9月28日）確認された新たな地熱域です。
- ・図の破線赤色囲みの領域が、2009年8月に確認され、2010年12月にかけて拡大が確認された北東斜面の噴気地熱域であり、その後地熱域の広がりには大きな変化は認められません。
- ・図の実線白色囲みの領域が、2010年9月24日に確認された北斜面の噴気地熱域であり、その後地熱域の広がりには大きな変化は認められません。
- ・図の破線黄色囲みの領域が、以前から地熱の高まりがみられる山頂北部の噴気地熱地帯です。地熱域の広がりには大きな変化は認められません。

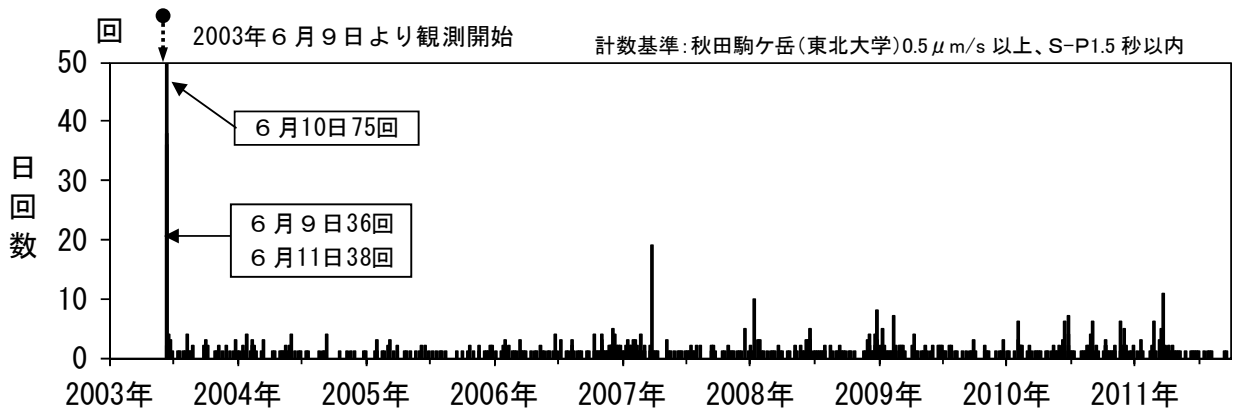


図 6※ 秋田駒ヶ岳 日別地震回数 (2003 年 6 月～2011 年 9 月)

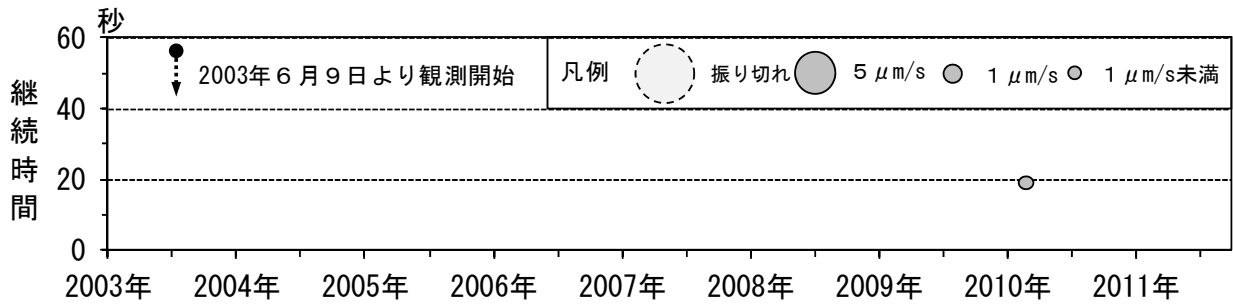


図 7※ 秋田駒ヶ岳 微動の継続時間と上下動最大振幅 (2003 年 6 月～2011 年 9 月)  
東北大学秋田駒ヶ岳観測点による。